

製品名: PHKG1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16074**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	PHKG1
別名	PHKG1; PHKG; Phosphorylase b kinase gamma catalytic chain; skeletal muscle isoform; Phosphorylase kinase subunit gamma-1
遺伝子 ID	5260.0
SwissProt ID	Q16816
免疫原	抗血清はヒト PHKG1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 241-290

背景

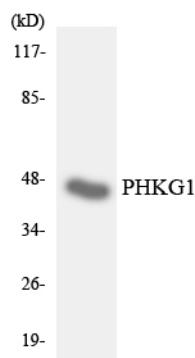
この遺伝子は Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーのメンバーであり、1つのタンパク質キナーゼドメインと2つのカルモジュリン

結合ドメインを持つタンパク質をコードします。このタンパク質は、4種類のサブユニットが等モル比で含まれる16サブユニットからなるタンパク質キナーゼ複合体の触媒メンバーです。この複合体は、グリコーゲン分解を制御する重要な酵素です。この遺伝子には、染色体7q11.21に2つの偽遺伝子と、染色体11p11.12に1つの偽遺伝子が存在します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq提供、2012年5月]、触媒活性: 2 ATP + ホスホリラーゼ b = 2 ADP + ホスホリラーゼ a, ドメイン: 2つのカルモジュリン結合ドメインは、カルモジュリン1分子に結合するために協調して作用し、擬基質/自己阻害ドメインである。、機能: ホスホリラーゼ b キナーゼは、トロポニンIを含む特定の基質中のセリンのリン酸化を触媒する。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。CAMK Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。、類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。、サブユニット: α 、 β 、 γ 、 δ のそれぞれ4つずつ、計16本の鎖からなるポリマー。 α と β は調節鎖、 γ は触媒鎖、 δ はカルモジュリンである。、

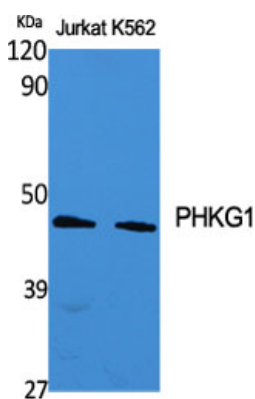
研究分野

カルシウム;インスリン受容体;

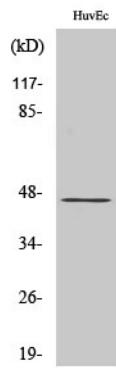
画像データ



PHKG1 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



PHKG1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



PHKG1 ポリクローナル抗体を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット解析